

基本目標	事業名	内容	所管課	計画書ページ	実施状況 プルダウン	令和3年度 実施状況 ・生きづらさへのサポートに関連しそうなことを中心に ・事業の所管課が変わっている場合はその旨ご記載ください。	令和3年度 実施状況に関する所管課の評価	令和4年度 実施予定	備考
1. 生きることの促進要因を増やす(ポピュレーションアプローチ)									
1	福祉何でも相談	区民のさまざまな生活上の課題に対し、ともに解決に向け考え、関係機関や区民と一緒に支援を行う。	中野区社会福祉協議会	P.40	①予定通り実施	例年に比べて1.3倍ほど増加。コロナの影響もあり、経済問題、健康問題、家族問題等、行き場のない相談が増加。ベースに発達障害やメンタルの不調があるが、なんとか就労して生活していた人がコロナを契機に辞職したり解雇されたりするケースもあった。具体的に「自殺を考えている」という相談もあった。「死ぬ」という言葉の敷居が低くなっている印象ある。	相談の複雑化や深刻化が見られ、相談を受けるスタッフのスキル向上やメンタルケアにも目を向けていきたい。	①昨年度通り実施予定	
1	高齢者困りごと支援事業	日常生活におけるちょっとした困りごとを、地域の参加者の協力を得て解消し、高齢者が地域で安心して生活できるよう援助する。	中野区社会福祉協議会(区補助事業)	P.40	①予定通り実施	例年に比べて微増。コロナで自宅等に訪問してもらうことや接触することが敬遠されるかと予想されたが、やや増加。	困りごとがあるが、コロナ禍もあり身近な人には頼みにくいということの表していると解釈している。	①昨年度通り実施予定	
1	中野区ファミリー・サポート事業	地域で安心して子育てができるよう地域の支えあいによる会員の相互援助活動。	中野区社会福祉協議会(区受託事業)	P.40	①予定通り実施	LINEによる情報発信開始した。コロナで子育て世帯の環境変わった。	協力会員の減少が課題と認識している。	①昨年度通り実施予定	
1	生活福祉資金貸付事業	低所得世帯や障害者世帯、高齢者世帯で、資金の貸付と必要な相談を行うことで経済的自立を支援する制度。	中野区社会福祉協議会(東京都社会福祉協議会受託事業)	P.41	①予定通り実施	2021年度はコロナの影響による生活困窮世帯を対象に「緊急小口資金・総合支援資金の特別貸付」を実施。2022年6月末まで延長。生活保護には相談に行けない、行きたくない人の相談も多数あり。また書類作成がスムーズにできない人の直接来所ニーズも多かった。	コロナ禍を受け、非常にニーズの高い事業であり、人員を厚くして対応した。	①昨年度通り実施予定	
1	受験生チャレンジ支援貸付事業	中学3年生、高校3年生の子どもを持つ低所得世帯に対して、学習塾の受講料と高校・大学の受験料の貸付を実施。	中野区社会福祉協議会(区受託事業)	P.41	①予定通り実施	例年と変わらず一親のニーズ高い。	女性のみで生計を立てる家庭には必要が高く、今後も支援が必要。	①昨年度通り実施予定	
1	あんしんサポート事業	身寄りのない、協力が得られる親族がいない単身高齢者を対象に、定期的な見守り、日常的な金銭管理および家事援助(ほほえみサービス事業と連携)を実施。	中野区社会福祉協議会(区補助事業)	P.41	①予定通り実施	例年と比べ微増。コロナの影響で予め用意しておこうと考える人が増えた。		①昨年度通り実施予定	
1	人権啓発	中野地区の人権擁護委員と協力し人権教室、「人権の花」の育成、「中学生人権作文」、パネル展などの啓発活動の実施。	企画課	P.41	②予定を一部変更して実施	・小学生対象として、草花を育てることによって生命の尊さを実感する中で、豊かな心を育み、優しさと思いやりの心を体得することを目的として「人権の花」を実施。 ・中学生対象として、日常の家庭生活や学校生活等の中で得た体験を作文に書くことを通じて、人権尊重の大切さや基本的人権についての理解を深め、豊かな人権感覚を身に付けることを目的とし、「中学生人権作文」を実施。 ・庁内の人権施策関連課と共催して、中野駅ガード下「夢通り」にて「人権週間パネル展」を実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、例年行っていた人権擁護委員による学校への訪問等は中止したが、実施方法等の工夫により、概ね例年通り人権施策に関する事業を実施することができた。	①昨年度通り実施予定	
1	男女共同参画啓発	男女共同参画社会の実現に向け、講座の開催、情報誌の発行、啓発と環境整備の実施。男女共同参画基本計画の進捗管理。	企画課	P.41	①予定通り実施	・男女共同参画週間講演会の実施 ・男女共同参画週間パネル展の実施 ・男女共同参画センター情報誌「アンサンプル」の発行 ・労働者向けセミナーの実施 ・大学生向けデートDV予防講座の実施 ・中学生2年生対象デートDV予防啓発冊子の配布 ・若年層に対する暴力防止講座の実施 ・女性への暴力をなくす運動パネル展の実施 ・男女共同参画基本計画(第4次)の進捗調査の実施	新型コロナウイルス感染症の影響により、講座や講演会、パネル展などは規模を縮小して開催したが、概ね例年通り男女共同参画に関する事業を実施することができた。また、犯罪被害者等支援担当とも協力し、パネル展を開催するなど、他課とも連携して広く啓発ができるよう、事業実施の工夫をした。	①昨年度通り実施予定	
1	職員のメンタルヘルス相談事業	職員へのストレスチェックの実施。必要時、専門医等による面談の実施。	職員課	P.41	①予定通り実施	健康診断の実施時期に合わせてストレスチェックを実施 高ストレスと判定された職員の内、申し出のあった職員に対して、健康管理室の医師による面談を実施 令和3年度面談者数:13名	継続して面談を実施していく。	①昨年度通り実施予定	委託している事業者(保健師、専門医等を含む)を通じて実施していく。
1	職員向けメンタルヘルス研修	新規採用職員等を対象としてメンタルヘルス研修を実施。ストレス等に対する知識を身につけ、仕事をしていく上で職員が自身のメンタルヘルスとどのように向き合っていくか、ということを目的としている。	職員課	P.42	①予定通り実施	新採向け(延べ4回)、主任向け(延べ2回)実施	継続して研修を実施していく。	①昨年度通り実施予定	
1	職員の健康管理	職員の健康診断の実施。健康管理室の産業医、保健師による面談、指導の実施。共済組合等による特定保健指導の実施。	職員課	P.42	①予定通り実施	労働安全衛生法に基づき、職員の健康診断を年1回実施 健診結果に基づき、健康管理室による面接・面談、共済主催の特定保健指導を実施している。 令和3年度職員管理室面談数:183名 令和3年度東京都職員共済組合保健指導実施者数:74名	継続して面談を実施していく。	①昨年度通り実施予定	委託している事業者(保健師、専門医等を含む)を通じて実施していく。
1	総合案内	総合案内や戸籍住民フロアにフロアマネージャーを配置し、来庁者の用件に合わせた適切な窓口案内の実施。	区民生活課→区民文化国際課	P.43	①予定通り実施	令和3年度は約50万件の案内を行う。(別紙あり)	スケジュール通り実施	①昨年度通り実施予定	状況(内容)により、担当部署へ引継いでいる。

基本目標	事業名	内容	所管課	計画書ページ	実施状況 プルダウン	令和3年度 実施状況 ・生きづらさへのサポートに関連しそうなことを中心に ・事業の所管課が変わっている場合はその旨ご記載ください。	令和3年度 実施状況に関する所管課の評価	令和4年度 実施予定	備考
1	子ども総合相談窓口子ども総合窓口専門相談員	各種手続きのワンストップ対応。子育てコンシェルジュによる利用者への相談支援、情報提供を実施。	子育て支援課	P.42	①予定通り実施	困りごとがありそうな来庁者に対し声がけし、横断的なサービスの提案やそれぞれの状況に合わせた行政サービスや支援への引継ぎを行った。また、自殺につながるような深刻な内容の相談は受けなかった。	横断的なサービスの提案やそれぞれの状況に合わせた行政サービスや支援への引継ぎについて、一定程度の実施ができたと評価する。	①昨年度通り実施予定	
1	中野区次世代育成委員	地域に暮らす立場から育成活動、子育て支援活動、学校や子ども関連施設と連携した子育てネットワークづくりを行うため、地域推薦を受け区長が委嘱する。すこやか福祉センターや児童館、キッズ・プラザと協働して、家庭・地域・学校の連携を推進する役割を担う。	育成活動推進課	P.42	①予定通り実施	児童館長、キッズ・プラザ所長とともに、学校、地域との情報共有や地区懇談会の実施などとおして、家庭・地域・学校の連携を推進した。	コロナ禍であっても、工夫して地域の育成者、育成団体相互の連携を保持する取組みを行い、地域の子育てネットワークづくりを進めた。	①昨年度通り実施予定	・特別公務員の扱い ・学童やキッズプラザを利用する保護者からの相談にも対応
1	(仮称)総合子どもセンター子ども・若者支援センター	子ども・教育にかかる専門性の高い相談支援・指導・措置等、切れ目のない支援を迅速、的確、総合的に展開する。	子育て支援課→子ども・若者相談課	P.42	①予定通り実施	令和3年11月29日、子ども・若者支援センター開設(所管課:児童福祉課) 子ども・若者及びその家族に対し、専門性の高い総合的な相談支援を実施。	「どこに相談したら良いのか分からない」等、様々な相談を受付する窓口を設置することができた。	②一部変更して実施予定	・事例:高校生の親、子が死にたいと書いたメモを見つけどうしたらよいかと相談あった。 ・令和4年度所管課:子ども・若者相談課
1	ひとり暮らし高齢者等確認調査	区の依頼により、年1回民生委員・児童委員が70歳以上の単身世帯、75歳以上の者のみで構成されている世帯を訪問し、世帯状況、健康状態、家事全般の自立度などについて調査を行い、必要時すこやか福祉センター・地域包括支援センターへの引継ぎを行う。	地域活動推進課	P.43	①予定通り実施	新型コロナウイルス感染症等の影響により実施できなかった高齢者訪問調査を3年ぶりに実施した。その調査結果を関係部署、機関が情報共有できる要支援者情報台帳システムに反映し、支援が必要な高齢者の対応を専門機関につないでいる。	高齢者の実態を把握することにより、対象者を必要な支援につなげるとともに、調査結果のデータについては、日常的な見守り情報として活用できている。	①昨年度通り実施予定	今回調査から単身世帯の対象年齢を70歳以上から75歳以上に変更
1	介護保険制度	介護保険制度の推進に関すること、介護サービス事業者支援に関すること等を実施。	介護・高齢者支援課	P.42	①予定通り実施	介護の日のイベント開催や介護サービス事業者の情報発信の支援とおして、介護保険制度の周知・啓発に努めた。 介護を必要としている要介護者及びその家族が、適切な介護サービスを受けることが重要であるため、事業者への指導や情報提供を行った。	適切に実施できた。	①昨年度通り実施予定	自殺対策事業としてとらえることは、いかがなものでしょうか。
1	妊産婦保健指導 妊娠出産トータル支援	妊娠から出産、子育てまでの個別のニーズに応じた切れ目ない支援を行うため、妊産婦に対する保健指導や各種サービスの提供を実施。(母子健康手帳の交付、こんにちは赤ちゃん学級の実施、妊娠・出産・子育てトータルケア事業の実施)	すこやか福祉センター	P.41	①予定通り実施	・例年に引き続き、妊娠届に伴うアンケート実施により、母子手帳交付時から、特定妊婦等、リスクが高いと認められる方の早期把握とフォローの実施につなげている。 ・また、各種事業時に、リスクの兆候が認められた場合、委託事業者等から各すこやか福祉センターへ連絡を入れるよう仕様書等に定め、早期把握、早期フォローにつなげている。	・例年通り、リスクの認められる人の早期把握、早期フォローに努めた。	①昨年度通り実施予定	
1	母親のメンタルアンケート	産婦・新生児訪問事業(こんにちは赤ちゃん訪問)および3か月児健診において、母親のメンタルアンケート(EPDS)を実施し、高得点者には医療系専門職による相談・面接を行うほか、内容に応じて医師等による専門相談を実施。	すこやか福祉センター	P.41	①予定通り実施	こんにちは赤ちゃん訪問および3か月児健診において、母親のメンタルアンケート(EPDS)を実施した。高得点者には、面接等を行うほか、内容に応じて医師等による専門相談を実施。	産後うつなどメンタルヘルスに関する相談について、専門職による丁寧な支援をする体制ができている。高得点者には早期に面接を行い確認し、グループ指導や産後支援事業の参加を促し、必要時に医療機関と連携し治療につなげることができている。	①昨年度通り実施予定	・男性の育児休業取得促進によって、父親のEPDSが上がっている印象ある。 ・男性の子どもの泣き声に怒鳴ってしまうという相談あり。
1	子育て専門相談	母親のメンタルヘルス、子どもの発達に関わる相談等に医師・心理相談員が対応する専門相談を実施。	すこやか福祉センター	P.41	①予定通り実施	育児に不安を抱えていたり、発達に課題を抱えている家庭に対し、専門職がサポートをすることで、その人のもつ不安や生きづらさの軽減が図れるよう取り組んでいる。	育児や子どもの発達に関する相談に、医師・心理職などの専門職が一緒に関わり、必要な家庭に継続した支援ができる体制を整えている。また必要時、医療機関や療育機関などと連携し、切れ目のない支援が継続できるように取り組んでいる。	①昨年度通り実施予定	
1	地域子ども家庭支援	すこやか福祉センターにおいて、子育てに関する様々な相談を受け、継続した支援を実施。	すこやか福祉センター	P.42	①予定通り実施	地域で孤立することのないよう、身近な相談先としてすこやか福祉センターを利用できるよう、既存の事業などを通して周知している。	すこやか福祉センターで実施する既存の事業や健診、地域における活動などを通し、様々な相談へ対応し、必要な支援を提供できるように取り組んでいる。	①昨年度通り実施予定	
1	個別相談・訪問	こんにちは赤ちゃん訪問事業および保健指導訪問の実施。区内に住所・居所を有する生後4か月に達するまでの乳児がいる家庭を、医療系専門職が訪問し、乳児や保護者の健康状態把握や保護者に対する指導・支援を行う。(こんにちは赤ちゃん訪問事業) 訪問により継続的な支援の必要性が認められる場合は、生後4か月以降も引き続き保健指導のための訪問、相談を継続する。(保健指導訪問)	すこやか福祉センター	P.42	①予定通り実施	・例年に引き続き、出生通知票を元に訪問を行い、精神面も含めてリスクが認められた方は、地区担当の保健師が把握し、継続的な支援につなげている。	・例年通り、リスクの認められる人の早期把握、早期フォローに努めた。	①昨年度通り実施予定	

基本目標	事業名	内容	所管課	計画書ページ	実施状況 プルダウン	令和3年度 実施状況 ・生きづらさへのサポートに関連しそうなことを中心に ・事業の所管課が変わっている場合はその旨ご記載ください。	令和3年度 実施状況に関する所管課の評価	令和4年度 実施予定	備考
1	アウトリーチ訪問調査	アウトリーチチーム(区内15か所の区民活動センターに事務職および医療・福祉の専門職をチームとして配置)と他職種とが連携し、課題解決に取り組む。	すこやか福祉センター	P.42	①予定通り実施	潜在的な要支援者の発見や孤立の防止に向け、多職種によるアウトリーチ活動を進め、適切な相談支援につなぐ。	多様な課題を抱えている人やその家族の早期発見・早期対応を推進した。	①昨年度通り実施予定	・事例:アウトリーチチームの介入の前に、区外へ転出しておりその先での自殺が分かった。
1	保健福祉相談総合調整	総合相談窓口を設置し、保健・福祉のサービス提供のための相談、申請、受付、支援を実施。地域包括支援センター、障害者相談支援事業所を包括し、地域における総合的な保健福祉を実施。	すこやか福祉センター (障害者相談支援事業所) (地域包括支援センター)	P.43	①予定通り実施	地域での見守りを継続し、困った時にSOSを出せる関係づくりの構築に取り組んでいる。	保健・福祉に関する総合相談窓口を設置し、困りごとに対する相談、サービス利用にあたっての必要な支援や助言、サービスの申請受付などを、地域包括支援センターや障害者相談支援事業所と連携しながら対応している。	①昨年度通り実施予定	
1	健康福祉に関する意識調査	区民の健康福祉に関する関心や健康福祉サービスに対する意見などを把握し、事業や施策の見直し・改善、目標の達成度を図る指標として活用するために実施。	福祉推進課	P.43	②予定を一部変更して実施	意識調査結果の利用状況と令和4年度の調査希望項目(設問)等の確認依頼(調査)を行った。	令和4年度に円滑に意識調査が実施できるよう、関係所管課と調整するなど適切に実施することができた。	②一部変更して実施予定	令和2年度までは毎年度実施していたが、事業見直しにより今回は令和4年度に実施する。
1	生活相談	経済的困窮者、低所得者の福祉向上のため生活相談を実施。	生活支援課	P.43	①予定通り実施	通常業務における生活相談に加え、中野区社会福祉協議会主催の『中野つながるフードパントリー』(6回/年)に参加し、生活相談を行った。	相談会に訪れた相談者に対し、相談を継続することにより、生活保護の申請やその他の支援につなげることができた。	①昨年度通り実施予定	・フードパントリーに職員1名派遣した。相談は2~3件。 ・中高年男性の相談で、受給対象外となるのは1割程度。逆にいうとほとんどが受給対象となる状態で相談に来られている。
1	路上生活者対策	路上生活者からの早期の社会復帰を促進するため、東京都と連携し自立支援事業を実施。	生活支援課	P.43	①予定通り実施	路上生活者に対し、自立支援センターの支援員による週一回の巡回相談を行った。希望者には、生活保護の申請や緊急一時保護事業により、自立に向けての支援を行った。	自立支援センター職員による就労相談、就労先の紹介により、自立に向けての支援を行った。	①昨年度通り実施予定	・路上生活者の自殺、というのではないが、セルフネグレクトの側面から結果的にそうになってしまう事例あり。
1	生活困窮者自立支援事業	就労支援、その他の自立に関する問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供および助言を実施。離職者に対する住居確保給付金の支給、就学援助利用世帯の小・中学生への学習支援を実施。	生活支援課	P.43	②予定を一部変更して実施	就労支援、その他の自立に関する問題について、生活困窮者からの相談に応じ、必要な情報の提供および助言に加え、令和2年度から家計改善支援事業を実施した。また、コロナ禍の影響による住居を失うおそれのある方等のため、令和2年4月に住居確保給付金の支給対象要件の緩和を行い引き続き支援を行った。(令和3年のから就学援助利用世帯の小・中学生への学習支援事業を子ども教育部に事業移管)	自立支援に関する相談の他、住居確保給付金の支給により、住居を失う不安のない状態で安心して再就職等に向けた活動を支援することができた。	①昨年度通り実施予定	
1	エイズに関する相談・検査	エイズに対する不安を取り除き正しい知識を普及するため、相談および検査を実施。またNPO法人への委託によるHIV即日検査・相談を実施し、同性愛者等のハイリスクグループへの普及啓発と感染予防のための個別相談を実施。	保健予防課	P.43	②予定を一部変更して実施	年度当初は検査21回/年の予定であったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で、7~9月、2~3月の検査を中止し、14回/年実施。NPO法人委託の即日検査・相談は6回/年の予定を5回/年実施。	自治体でのHIV無料検査の縮小が進む中、検査機会の確保のため事業継続している。匿名検査となるため、受検者の詳細情報が不明だが、他区や同一人物の複数回受検も見受けられており、区内のニーズのある方が広く受検できるよう改善する必要がある。	①昨年度通り実施予定	
2. 生きることの阻害要因を減らす(ターゲットアプローチ)									
2	こどもほっとネットinなかの(中野区内で子どもの貧困問題に取り組むネットワーク)	自主的な情報交換会の実施、中野区の子ども食堂・学習支援活動マップを発行し中野区内の小中学校全生徒に配布。	中野区社会福祉協議会	P.52	②予定を一部変更して実施	子ども食堂は食事を伴うため、中止となったところが多かった。学習支援はオンラインなどを活用しながら実施していた。		①昨年度通り実施予定	
2	ほほえみサービス事業	高齢や障害、病気などで援助を必要としている区民が住み慣れた地域で生活できるよう、区民の支えあいによる、有料で家事援助等を行う会員制の在宅福祉サービス。	中野区社会福祉協議会 (区補助事業)	P.52	①予定通り実施	例年より増加。会員制の家事・育児支援。利用者側に自殺者がいた。また事実かどうか分からないが未遂のエピソードを話す方もいて、支援者が困る場面があった。	支援者側のケアや研修機会も必要と考える。	①昨年度通り実施予定	
2	アシストなかの(権利擁護事業)	認知症や知的障害、精神障害等により、判断能力が不十分な方に対し、福祉サービス利用援助を基本とした日常的な金銭管理を行う事業(地域福祉権利擁護事業)。	中野区社会福祉協議会 (東京都社会福祉協議会受託事業/一部、区補助事業)	P.52	①予定通り実施	例年に比べ1割ほど減少。コロナで包括支援センターやケアマネジャーの訪問や面接が減少し、前もって利用を勧める事例が減った。	紹介機会を引き続き増やしていく。	①昨年度通り実施予定	
2	中野区成年後見支援センター	成年後見制度の周知、成年後見制度の利用に関する相談、市民後見人の育成等の実施。	中野区社会福祉協議会 (区受託事業)	P.52	①予定通り実施	アシストなかのの状況に対し、例年の1割ほど増加。アシストなかのの利用が減少したため、入院や入所のタイミングですぐに成年後見人が必要になるケースが増加した。		①昨年度通り実施予定	
2	地域の居場所情報一覧	区民が気軽に集える区内にある居場所やサロン情報一覧の発行。	中野区社会福祉協議会	P.52	②予定を一部変更して実施	コロナで活動できる居場所が減った。また、情報を紙媒体から、ホームページ公開へ変更した。	広報についてはさらに検討していく。	①昨年度通り実施予定	
2	カタルーベの会	ひきこもり当事者、ご家族を対象にした居場所。毎月第2金曜日の午後1時30分から午後4時で実施している。	中野区社会福祉協議会	P.52	①予定通り実施	区報で周知したところ参加者増加した。コロナ禍であっても数少ないひきこもり当事者の居場所であるため休まず実施した。ひきこもりの兄弟姉妹に焦点を当てた講演会を行い、兄弟姉妹の思いが明らかになった。	講演会で明らかになった家族の思いを支援に活かしていく。	①昨年度通り実施予定	

基本目標	事業名	内容	所管課	計画書ページ	実施状況 プルダウン	令和3年度 実施状況 ・生きづらさへのサポートに関連しそうなことを中心に ・事業の所管課が変わっている場合はその旨ご記載ください。	令和3年度 実施状況に関する所管課の評価	令和4年度 実施予定	備考
2	区民相談・各種専門相談	■区民相談 生活上の困りごとや悩みを抱えているが、相談先や解決方法等がわからない区民に対し、手続き・相談先などを案内する。 ■専門相談 専門性の高い問題などの解決を手助けするため不動産・法律等専門相談の実施。	区民生活課→区民文化国際課	P.53	①予定通り実施	法律相談、不動産相談、税務相談等の専門相談を実施。令和3年度は約1,300件の相談に対応。(別紙あり)	スケジュール通り実施	①昨年度通り実施予定	状況(内容)により、担当部署へ引継いでいる。
2	消費生活相談	消費生活相談の実施。	区民生活課→区民文化国際課	P.53	①予定通り実施	・消費生活相談 ・多重債務相談 ・高齢者被害特別相談 ・若者のトラブル110番	通年の事業を通じて、消費者に対する支援を行った。	①昨年度通り実施予定	
2	子ども・子育て支援事業計画	子ども・子育て支援事業計画の推進。	子ども教育政策課	P.54	①予定通り実施	子ども・子育て支援事業計画に記載の関連事業について、各課の事業実績を取りまとめ、課題の改善につなげた。	事業の実施状況や進捗を把握し、各課が課題の改善を図ることで、計画に記載の関連事業を適切に進めることができた。	①昨年度通り実施予定	令和4年度に計画(子ども・若者計画)を改定予定
2	教育相談	子どもの教育問題についての相談を実施。	指導室	P.54	①予定通り実施	・保護者が感じている子どもの教育上の悩みや問題、また、子ども自身の悩みを解消するために、専門の相談員が継続相談や電話相談に応じた。 ・学校の相談体制を強化するため、1週間に一度(半日)、相談員を区のスクールカウンセラーとして中学校区に1名ずつ派遣した。	・みらいステップなかのにおける児童福祉課や子ども・若者相談課との更なる連携強化が必要である。 ・都のスクールカウンセラーや心の教室相談員の勤務日ではない日に派遣することで、児童・生徒や保護者が相談できる日を1日増やすことができた。	①昨年度通り実施予定	・区SCは、区の関係機関を把握しており、適切な繋ぎ先の照会ができる強みがある。
2	教職員研修	教育公務員に対し、教育課題に関する自己研鑽の場を提供する。	指導室	P.54	①予定通り実施	・各校の担当教員に悉皆研修を実施した。 ①東京都人権プラザの専門員による講話 ②東京都教育委員会 人権尊重教育推進校(2年次)研究発表会(平和の森小学校)への参加	・研修に参加した教員は、子ども一人ひとりを大切に人権教育について理解を深めることができた。 ・参加していない教員への周知を徹底する方法を検討する必要がある。	①昨年度通り実施予定	
2	人権教育推進委員会	人権教育をとおして、組織的に心の教育の充実を図る。	指導室	P.54	①予定通り実施	・子どもたちが様々な人権課題について学び、人権尊重の理念を正しく理解して、思いやりのある心をもって生活していけるよう、各教員が多様な人権教育の授業を実践するための事例を提案した。	・時宜に合った人権課題に着目し、区内の教員に対して授業例を示すことができた。	①昨年度通り実施予定	
2	心の教室相談員	学校に居場所や話し相手、相談相手を見いだせずにいる児童・生徒に対し、気軽に立ち寄れる場所と話しができる環境の整備として相談員を全区立小・中学校に配置。	指導室	P.54	①予定通り実施	・心理学を学ぶ大学生や地域の方が相談員になっている。 ・ここ数年で、「情緒不安定」「不登校」「学習・進学」に関する児童・生徒の相談が増加しており、引き続き気軽に立ち寄れる場所と話しができる環境として相談を実施した。	・小・中学校の相談記録によると、相談内容で「話し相手」の項目が多く選択されており、聞き役として、心の教室相談員が役立っていることが分かる。	①昨年度通り実施予定	・「不登校」の相談の増加は、コロナの影響もあるが、コロナ前から不登校の低年齢化が見受けられ、その数の積み重ねが影響。
2	スクールカウンセラー	いじめや不登校の未然防止、改善および解決並びに学校内の教育相談体制等の充実を図るため、全区立小・中学校に配置。	指導室(都事業)	P.54	①予定通り実施	・小学校5年生、中学校1年生への全員面接を実施し、実態把握を進めるとともに、「相談すること」への抵抗感の低減と相談しやすい環境の整備を行った。 ・ここ数年で、「発達障害」「不登校」に関する保護者の相談が増加しており、改善・解決に向けた教職員との情報共有や行動連携を行った。	・区内全てのスクールカウンセラーが、児童・生徒や保護者の状況に応じた区の資源を的確に紹介できるよう、周知を徹底する必要がある。	①昨年度通り実施予定	・SCの家庭訪問は以前まで制限されていたが、実施できるようになった。
2	スクールソーシャルワーカー	いじめや不登校、児童虐待など、生活指導上の課題に対応するため、教育分野と社会福祉等の専門的知識と技術を用いて課題を抱える児童・生徒への支援を行うため配置。校長、教育相談室、適応指導相談室の依頼に基づき派遣する。	指導室(都補助事業)	P.54	①予定通り実施	・ワーカーとなるのは、社会福祉士、精神保健福祉士等 ・不登校、いじめや暴力行為等の問題行動、子どもの貧困、児童虐待等の課題を抱える児童・生徒への支援を行った。	・みらいステップなかのにおける児童福祉課や子ども・若者相談課との更なる連携強化が必要である。 ・指導室、教育支援室と連携し、どの関係機関ともつながりをもつことができていない不登校児童・生徒が支援を得られるように、実態把握を進める。	①昨年度通り実施予定	・保護者からの相談、大きい事件があったときの児童らへのフォロー ・「学校に戻す」だけをゴールにせず、その子の特性や状況に応じて、フリースクールや地域の居場所に繋げる。
2	適応指導教室	区立小学校(3～6年)および中学校に在籍し、長期欠席の状態にある児童・生徒に対して学習指導や教育相談等を行い、再び登校できるように支援する。	指導室	P.54	①予定通り実施	・教職、心理職両方に対応。 ・学校に代わる居場所として、安心して相談や学習、体験活動、少人数でのグループ活動などが行えるよう支援した。 ・教育センターの移転に伴い、教育支援室分室として北部分室(野方図書館)、南部分室(南部すこやか福祉センター)に、中部分室(旧教育センター)を加え、児童・生徒のニーズに合わせた場所で支援ができるようにした。	・みらいステップなかのにおける児童福祉課や子ども・若者相談課との更なる連携強化が必要である。 ・教育支援室につながっていない児童・生徒が通いやすくなるよう、教育支援室での過ごし方や支援の場所などのニーズをさらに調査する必要がある。	①昨年度通り実施予定	
2	保育体験	保育園での中高生の乳幼児のふれあい体験や幼稚園での小学生と園児の交流、区立中学校での保育体験を通していのちの尊さ等を学ぶ。	指導室 保育園・幼稚園課	P.54	②予定を一部変更して実施	「いのちの授業」という名称で展開。家庭科の授業内で助産師による講話を実施している。何年生のときに実施するかは学校により異なる。	カリキュラムの一つのため、それに沿って継続。	①昨年度通り実施予定	
2	ひとり親家庭支援	ひとり親家庭が子育てをしながら安心して生活・就労等ができるよう、母子・父子自立支援員が相談・支援を実施。	子育て支援課	P.53	①予定通り実施	・相談数は減少した。 ・ひとり親家庭を対象とし、生活困難等の相談を母子・父子自立支援員が専門的に行った。自殺につながるような深刻な内容の相談は受けなかった。	対象者それぞれの状況に合わせ必要な支援等の案内を行っており、ひとり親家庭の支援として一定の成果があったと考える。	①昨年度通り実施予定	・経済的に困窮しているという相談がメイン。すぐに自殺に繋がるという印象ではない。
2	若年層へのライフプラン講座	区内中学校、高校、大学や保護者等を対象として、結婚・妊娠・出産を意識したライフデザインへの理解を促進する。	子育て支援課	P.54	⑤廃止・中止	本事業は、令和2年度まで継続実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の流行などにより、対面での事業実施が困難となったため、休止とした。		⑤廃止・中止	
2	子ども家庭支援センター	子育て家庭が抱える様々な問題を解決し、児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応の実施。	子育て支援課 児童福祉課	P.54	①予定通り実施	子ども家庭支援センター(子ども・若者支援センター)において、児童虐待対応を中心とした子育て家庭が抱える問題に係る相談支援を実施。	東京都杉並児童相談所等の関係機関とも連携し、児童虐待の未然防止、早期発見・早期対応に取り組むことができた。	②一部変更して実施予定	令和4年度所管課：児童福祉課

基本目標	事業名	内容	所管課	計画書ページ	実施状況 プルダウン	令和3年度 実施状況 ・生きづらさへのサポートに関連しそうなことを中心に ・事業の所管課が変わっている場合はその旨ご記載ください。	令和3年度 実施状況に関する所管課の評価	令和4年度 実施予定	備考
2	精神保健相談	ひきこもりや、受診までには至らない、あるいは受診したいが出来ないなど心の悩みのある区民、家族および関係者を対象に専門医師による相談を実施。 ■こころのクリニック ■嗜癡相談 ■高齢者専門相談	すこやか福祉センター	P.53	①予定通り実施	身近な相談先として、心の悩みのある区民に対し、医療専門職である保健師や、心理職、専門医師による相談を実施している。	身近なすこやか福祉センターにおいて、医療専門職である保健師のほか、精神科専門医による相談ができる体制が整っている。	①昨年度通り実施予定	・産後うつ、思春期の相談等に対応
2	精神保健福祉講座	区内在住、在勤、在学の方を対象に精神疾患の基礎知識や症状、接し方について学ぶ講座。	すこやか福祉センター	P.53	⑤廃止・中止	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止。	新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け中止とした。		・令和4年度は実施予定。
2	心の病のある方の家族セミナー	区内在住の精神疾患のある方の家族、その他関心のある方を対象に、精神障害についての理解を深め、障害のある方を支えるためにできることを考える会。	すこやか福祉センター	P.54	②予定を一部変更して実施	新型コロナウイルス感染拡大の影響により規模は縮小したが、家族セミナーを実施し、ひろく精神疾患への理解を深める取り組みを行った。	新型コロナウイルス感染症対策として定員を縮小して実施した。精神障害者家族会と連携して開催し、精神疾患への理解を深める機会をつくることができている。	①昨年度通り実施予定	
2	高齢者専門相談	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援を実施。	福祉推進課	P.53	①予定通り実施	・中野区高齢者・障害者虐待対応連絡会を実施(10月)、障害福祉課と福祉推進課の共催で虐待防止講演会を実施(2月)した。 ・虐待対応会議(コアメンバー会議)では常に「中野区高齢者虐待対応マニュアル」を基本に事例検証、虐待認定を行った。	高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援を適切に実施。 ※令和3年度高齢者虐待通報107件	①昨年度通り実施予定	
2	犯罪被害者等相談支援	犯罪被害者等が必要とする施策を総合的に推進し、犯罪被害者等の権利利益の保護を図るため、相談・支援を実施。	福祉推進課	P.53	①予定通り実施	・必要に応じて関係機関とも連携し、犯罪被害者等に対する相談・情報提供、裁判所等への同行、重傷病支援金の支給等の支援を行った。(相談実人員36人、延411件) ・犯罪被害者等が置かれる被害後の状況や心情について理解を深めるため、区民向けの講演会、パネル展等の普及啓発事業を実施した。(講演会:11月2日開催、参加者数93人)	犯罪被害者等に寄り添ったきめ細やかな支援を実施することができた。また、普及啓発事業の実施により、犯罪被害者等への理解を深めることができた。	①昨年度通り実施予定	
2	就労支援センターに関する事業	就労を希望する障害のある人の就業相談、就業前訓練、就労の場の確保に向けた企業開拓、面接同行、職場実習支援等の就職支援、就労後の定着・生活支援等を実施。	障害福祉課 一般財団法人中野区障害者福祉事業団 (区受託事業)	P.52	①予定通り実施	就労を希望する障害のある方に対し、障害の特性や仕事・生活に関する課題を精査し、個々に適した就労へつなげた。また就労後も定着支援を行うことで、安定して働き続けられるよう支援した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、支援が必要な方の就労が難しい状況が続いていると思われる。よりその方の特性に応じた支援が必要になる。	①昨年度通り実施予定	・コロナ禍で仕事を失う人も多い。 ・就職求人なども減っている。 ・その一方で、就労奨励金の申請数は減っていないため、就労を希望する人には適切なサポートができていると考える。
2	障害者相談・支援	障害者の総合相談や障害福祉サービスの利用援助、社会資源を活用するための支援を実施。	障害福祉課 障害者相談支援事業所 (委託)	P.53	①予定通り実施	障害者の総合相談等より、相談者が地域生活を送るためのニーズの把握をした。介護等給付や訓練等給付等、障害福祉サービスの利用のための支援やその他社会資源を活用するための支援を実施した。	障害福祉サービスの利用等をきっかけに相談関係ができ、必要時、新たな相談や地域生活を維持するために必要な支援に結びつけられるよう、関係機関との連携強化がより求められる。	①昨年度通り実施予定	・障害福祉サービスの利用に関わらず、生活困難感に関わる様々な相談を受け付けている。
2	障害者虐待防止センター	障害者虐待の通報、届出受理、虐待を受けた障害者の保護、啓発事業および虐待防止マニュアルの作成。	障害福祉課	P.53	①予定通り実施	虐待を受けた障害者に対する支援や保護を実施する中で、医療的支援や家族問題支援、障害サービスの利用等、必要な関係機関へつなぐ支援を実施。また虐待防止研修会を実施した。	障害者虐待の支援を実施する中で、本人に必要な関係機関へつなぐ支援を実施できている。 また虐待防止マニュアルの更新や研修会にて、継続的な啓発活動は必要である。	①昨年度通り実施予定	・虐待を防ぐため、家庭から障害者の方を分離させるということもある。
2	女性・婦人相談	婦人相談員および女性相談員を配置し、女性の様々な問題や悩みの相談を受け、その解決のための助言・指導を行っている。	生活支援課	P.53	①予定通り実施	DV被害者のみならず、コロナ禍において失業、住居を失った女性に対し生活の支援や宿泊所の提供を行った。	緊急一時保護施設や宿泊所、シェルターなどの活用により、悩みを抱える女性への支援が行えた。	①昨年度通り実施予定	・DVの相談が最も多い。
2	被保護者自立支援(自立支援プログラム)	被保護者の自立を促進するため、生活保護法による給付以外の援護を実施。	生活支援課	P.53	①予定通り実施	生活保護受給者を対象に精神的な疾患が原因で、安定した生活を送る事が困難な場合、精神保健福祉士が相談・助言の支援を行っている。	精神保健福祉士の相談・助言を通じ、安定した生活を送ることに効果があったと考えている。令和4年度も引き続き支援を行う。	①昨年度通り実施予定	
3. 関係機関が連携して自殺対策を推進する(包括的な推進体制の基盤整備)									
3	中野ボランティアセンター事業	ボランティア活動の相談、コーディネート、ボランティア情報誌「そよかぜ」の発行、区内福祉施設、区内ボランティアグループの発行。	中野区社会福祉協議会	P.57	①予定通り実施	ボランティアの登録数は例年に比べ若干減少。話し相手や傾聴のニーズが高い。		①昨年度通り実施予定	
3	地域活動担い手養成応援講座	地域活動・ボランティア活動へのきっかけづくりのための講座。	中野区社会福祉協議会	P.57	①予定通り実施	講座参加をすることで、社会や地域と繋がっているという感覚があり、コロナ禍で様々な居場所が中止する中、講座自体が居場所となっている印象があった。		①昨年度通り実施予定	
3	ボランティアコーディネーター養成講座	地域にある課題・問題を見つけたとき、どう解決していくのか、コーディネートする力、コーディネートを学ぶ。	中野区社会福祉協議会	P.58	①予定通り実施	切手の整理ボランティア活動等を展開。切手を切りながらお話をするというのが、参加しやすい様子。		①昨年度通り実施予定	
3	まちなかサロン事業	身近な地域で様々な世代の人が、気軽に月1回程度集まる場を運営支援している。	中野区社会福祉協議会	P.58	①予定通り実施	街の課題を感じている区民が自主的に立ち上げている居場所。休止中や活動終了してしまったサロンもあるが、新規も出ている。全体としては減少傾向。		①昨年度通り実施予定	
3	学校支援ボランティア	地域の人材を活用することにより、教育活動の充実を図る。	子ども教育政策課	P.59	①予定通り実施	学校支援ボランティアは、学校からの要望により読み聞かせや学校行事補助、環境整備などを行っている。学校ボランティア活動を通じ、子どもを見守ると機会となっている。	学校により学校ボランティア活動は異なるが、活動の際に気づく機会となる。	①昨年度通り実施予定	
3	子育てサービス	すべての子育て家庭が必要とするサービスを提供する。	子育て支援課	P.59	①予定通り実施	多様な生活によるいろいろな相談内容に対応できるように、内容をよく聞き取り案内を実施した。自殺につながるような深刻な内容の相談は受けなかった。	サービスの利用について聞き取りを行い、必要な案内を実施している。支援として一定の成果があったと考える。	①昨年度通り実施予定	

基本目標	事業名	内容	所管課	計画書ページ	実施状況 プルダウン	令和3年度 実施状況 ・生きづらさへのサポートに関連しそうなことを中心に ・事業の所管課が変わっている場合はその旨ご記載ください。	令和3年度 実施状況に関する所管課の評価	令和4年度 実施予定	備考
3	放課後子ども教室推進事業	地域のさまざまな大人が参画し、学校施設、公共施設等を活用して、放課後および土・日・休日における地域の子どもたちの安全で安心な活動の拠点または居場所を提供する。	育成活動推進課	P.58	①予定通り実施	学校の他に、児童館や区民活動センター、区立公園等の公共施設で事業を行うことで、放課後や休日における子どもたちの居場所の選択肢が増えた。	新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に努めながら、子どもたちが地域社会において安心して過ごせる居場所になり得た。	①昨年度通り実施予定	
3	子育てひろば事業	乳幼児親子が気軽に利用できる交流の場を提供し、乳幼児親子同士の交流を深める取組や、子育てについての相談、情報の提供、助言その他の援助を行う。	育成活動推進課	P.58	①予定通り実施	乳幼児親子の居場所、交流の場を開設し、保護者が気軽に相談したり、助言を受ける機会を提供した。	コロナ禍で制限がある中でも、子育てひろばの利用、交流を通して、保護者の子育て支援を行った。	①昨年度通り実施予定	
3	町会・自治会等活動支援	町会・自治会、友愛クラブ(老人クラブ)、NPO等の公益団体に、情報提供を行うとともに、見守り支えあいのネットワークづくりを実施する。	地域活動推進課	P.58	①予定通り実施	町会・自治会や友愛クラブが行う、地域における見守り、支え合い活動に助成するとともに地域の情報を提供した。	各団体が主体的・自主的に行う活動であるが、地域社会に必要な活動として、引き続き支援を行って行く。	①昨年度通り実施予定	
3	民生委員・児童委員活動支援	地域福祉の担い手となる民生委員・児童委員の活動支援の実施。	地域活動推進課	P.58	①予定通り実施	中野区自殺対策審議会の委員として、民生児童委員が出席し、他機関との情報交換、共有を図っている。またそれについて中野区民生児童委員協議会にて報告することで、全体への情報の共有を行っている。日頃の見守り活動を実施している中で、何らかの異変に気づいた場合は、区に連絡を行う体制をとっている。	中野区自殺対策審議会の委員として継続して関わっており、自殺対策への意識を高く持ちながら、日頃の民生児童委員活動が行われている。	①昨年度通り実施予定	
3	地域支えあいネットワーク調整	区民、事業者、行政および関係機関が連携し、高齢者など支援を必要とする区民が、地域で安心して暮らしていけるよう、見守り等の支えあい活動を推進する。	地域活動推進課	P.58	①予定通り実施	高齢者等の見守り対象者名簿を作成し、町会・自治会、民生委員、警察、消防に提供し、重層的な見守りを地域で行っている。また、区内事業者と高齢者等の見守りに関する協定を締結し、日常業務に支障のない範囲で見守りを実施し、何らかの異変に気づき場合は、区に連絡している。	見守り対象者名簿の活用により、地域における日常的な見守りを推進した。協定締結事業者からすこやか福祉センター等への連絡により、速やかに安否確認等が行われた。	①昨年度通り実施予定	
3	地域包括ケアシステム推進プラン	計画期間を平成28年度からの10年間とし、地域包括ケアシステムの構築に向けた区の推進体制整備を行うとともに、関係機関との連携を強化し目標達成に向けて取り組む。	地域包括ケア推進課	P.58	②予定を一部変更して実施	地域包括ケアシステム推進プランを改定し、支援が必要なすべての人を対象とした「中野区地域包括ケア総合アクションプラン」を策定した。その中で、地域包括ケアが目指すまちな姿を明らかにするとともに、SOSを発信できないリスクが高い人等に対するアプローチなど、区民、関係団体及び区の役割と、区の主な役割の実現に向けた各種体制を整備することとした。	概ね、予定どおり実施できた。	①昨年度通り実施予定	・行政計画ではない。
3	地域ケア会議	地域包括ケアシステム推進プランに掲げる目標の実現に向け、区、区民、関係機関・団体が連携し、地域の課題について話し合い、解決に向けた行動につなげていく。	地域包括ケア推進課	P.58	②予定を一部変更して実施	地域包括ケアシステム推進プランを改定し、支援が必要なすべての人を対象とした「中野区地域包括ケア総合アクションプラン」を策定した。その中で、重層的支援体制整備事業の実施に伴い、地域ケア会議の体制を見直し、区民活動センター圏域ごとの地域ケア個別会議(重層的支援会議・支援会議)の設置により、複合化・複雑化した個別ケースの課題解決に取り組む体制を整備することとした。	概ね、予定どおり実施できた。	①昨年度通り実施予定	
3	医療介護情報連携システム	在宅療養に関わる医療・介護等の関係者が在宅療養される区民の身体状況や支援経過などの必要な情報を共有する。	地域包括ケア推進課	P.58	①予定通り実施	医療介護情報連携システム「なかのメディケアネット」を運用した。在宅療養をする人や家族等の孤立を防ぎ、安心してケアを受けられるよう、ケアに携わる医療・介護従事者の連携促進を図った。	医療介護情報連携システム「なかのメディケアネット」の周知や利用促進に取り組んだが、利用者数の増加に至らなかった。今後も利用促進の取組を継続する。	①昨年度通り実施予定	
3	地域支えあいネットワーク推進	地域において、区、区民、団体、事業者が連携・協力して要援護者の見守りや支えあい活動を推進し、地域の支えあいネットワークの形成を促進する。	すこやか福祉センター	P.58	①予定通り実施	地域における見守り支え合いネットワークづくりや関係機関との連携が強化され、相談支援体制の構築されている。	アウトリーチ活動を通して、地域包括ケアシステムに則って関係機関と連携を進め、ネットワークの形成と拡大に取り組んでいる。	①昨年度通り実施予定	
3	障害者自立支援協議会	関係機関等が相互の連絡を図ることにより地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報を共有し、関係機関等の連携の緊密化を図る。	障害福祉課	P.59	①予定通り実施	障害者の相談支援機関や、障害者支援の現場からあげられた課題について、障害者自立支援協議会の場で共有し、検討を行った。	区内の障害者支援に関する主な課題については、障害者自立支援協議会を通して関係機関で情報が共有されている。	①昨年度通り実施予定	